

子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。



【センターwebページ】

●電話相談 0120-3882-56 (フリーダイヤル)

※無料、毎日24時間対応

●メール相談 doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用して下さい

●来所相談

子ども相談支援センター

札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階

(10時から16時、土、日、祝日、年末年始はお休みです)

※上記の電話相談で予約して下さい

※センターのwebページに、「子ども相談支援センターへの相談事例」を掲載しています。

<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/soudanjirei.pdf>

学校給食調理員を募集しています！！

- 1 勤務場所 門別地区学校給食調理場「富川・門別・厚賀」
- 2 勤務時間 午前8時00分～午後4時00分
- 3 採用条件 通勤可能で健康な方
- 4 賃金 町の規定による
※通勤手当別途支給
- 5 休暇 年次有給休暇制度あり
- 6 保険 厚生年金・健康保険・雇用保険
- 7 募集期限 随時募集
※市販の履歴書に記載し提出してください。(写真添付・郵送可)
- 8 お申し込み先 〒055-0004 日高町富川東6丁目3-1
お問い合わせ先 日高町教育委員会 管理課 電話01456-2-3721



入札結果をお知らせします

(単位：円)

工事・委託業務名	落札業者名	落札価格	落札率
入札日：令和2年12月17日			
ひだか高原荘本館宿泊棟等給水栓改修工事	(株)日栄工業日高支店	2,000,000	98.04%

(※落札金額に消費税等は含まれておりません)

工事期間中はご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

【お問い合わせ先】 日高町役場 技術審議室 電話01456-2-6186



雪下ろし安全10箇条

～除雪作業中の事故に注意しましょう～

国土交通省では、除雪作業中の事故における要因として最も多い屋根からの転落事故のほか、転倒事故、除雪機による事故、屋根から落雪による事故、水路等への転落事故、発症などの防止のための注意事項を「雪下ろし安全10箇条」として取りまとめています。

1.安全な装備で行う（最重要！！）



- 安全な装備は、屋根からの転落などの事故を未然に防ぎます。
- 安全帯は、腰全体を支えるハーネス型や体全体を支えるフルハーネス型を使用。
- 命綱は、ザイルロープなど丈夫なものを屋根の上で止まる長さで正しく結ぶ。
- 命綱の一端は、アンカー（無い場合は雪下ろしをする屋根の反対側の柱や固定物）にしっかり固定する。
- ヘルメットは、あごひもを締め、長靴は、滑りにくいものを使用し、動きやすい服装で作業する。
- これらの装備は、ホームセンターや登山キャンプ用品店などで購入できます。

2.はしごは固定する



- はしごが転倒することがあるため、必ずしっかり固定する。
- 足元をしっかりと固め、ロープや器具を使用。
- はしごは、斜めに立てかけず、屋根に対して決められた角度でまっすぐ立てる。
- はしごの長さは、軒先から少し高くかける。
- はしごの昇り降りには注意し、はしごから屋根に移動するときは特に注意。
- はしごの上で雪庇を落とすなどの作業は危険なため、絶対にやめましょう。

3.作業は2人以上で行う



- 1人での作業は、事故が発生した際に、発見が遅れる可能性がある。
- 発見が遅れると重大な事故につながる危険性が高くなる。
- 家族や親戚と一緒に複数人で除雪作業を行う。
- 近所の方や地域コミュニティと協力して作業を行う共助による除雪活動も重要。

4.足場の確認を行う



- 屋根の雪止めの位置を確認してから作業を行う。
- 落雪に巻き込まれないように、屋根の上から下ろす。
- 滑りにくくするよう、雪は少し残して作業する。
- 晴れていて気温が高い日は、滑りやすくなるため、特に注意。
- 水路等に転落する事故も増えているため注意。

5.雪下ろしのときは周りに雪を残す



- 屋根から転落した際に、地面、アスファルト、コンクリート等に強打すると、被害が大きくなる可能性がある。
- 落下した場所に積雪があることで被害を軽減することができる場合がある。
- 屋根の雪下ろしを行う場合は、雪下ろし後に住宅周りの除雪を行う。

6.屋根から雪が落ちてこないか注意する



- 屋根から雪が落ちてくる可能性があるため、住宅の周りで除雪する際に軒下では注意。
- 屋根に雪が積もって時間が経つと、氷のように堅くなり、直撃すると非常に危険。
- 新雪や晴れて暖かい日のゆるくなった雪は特に注意。
- 屋根雪を人力によらず落下させる落雪式住宅の場合は特に注意。

7.除雪道具や安全対策用具の手入れ点検を行う



- スコップやスノーダンプなどの除雪道具は、雪がつきにくくなるスプレーを使用するなど使いやすくしておく。
- 除雪道具や安全対策用具が古くなり、壊れていないか定期的に点検しましょう。

8.除雪機の雪詰まりはエンジンを切ってから棒などで取り除く



- 雪が詰まったときは、必ずエンジンを切ってから雪を取り除く。
- つまりを取り除くときは、棒などを使用する。
- 素手で取り除くのは、非常に危険なため絶対やめましょう。
- デッドマンクラッチ（安全装置）をひもで縛るなど、無効化することによる事故が増えています。絶対にやめましょう。

9.携帯電話を身につける



- 事故が発生したときは、動くことができなくなることがあります。
- 携帯電話を身につけることで、緊急時でも家族や緊急医療機関などにすぐに連絡をとることができます。

10.無理はしない



- 除雪作業は重労働です。体調が悪いときは、除雪作業を行わない。
- 作業前には、準備運動を行う。
- こまめに休憩をとりながら作業を行う。
- 寒い屋外での重労働による発作など発症の危険性があるため無理をしない。

～除雪作業中の事故を減らすために～

自分の経験や体力を過信せず、家族や地域で声を掛け合いながら、万全の安全対策で行いましょう。



除雪10箇条



「雪下ろし安全10箇条」は動画でもご覧いただけます。